

風しんの抗体検査・風しんの第5期定期接種について

平成31年2月1日付で予防接種法の法政令が改正され、特に風しんの抗体保有率が低い39～56歳の男性に対し、令和3年度末までの3年間に限り、麻しん風しん混合(MR)ワクチンの臨時定期接種を行うことが決まりました(風しんの第5期定期接種と名付けられました)。

特に抗体保有率が低い昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性に対し、

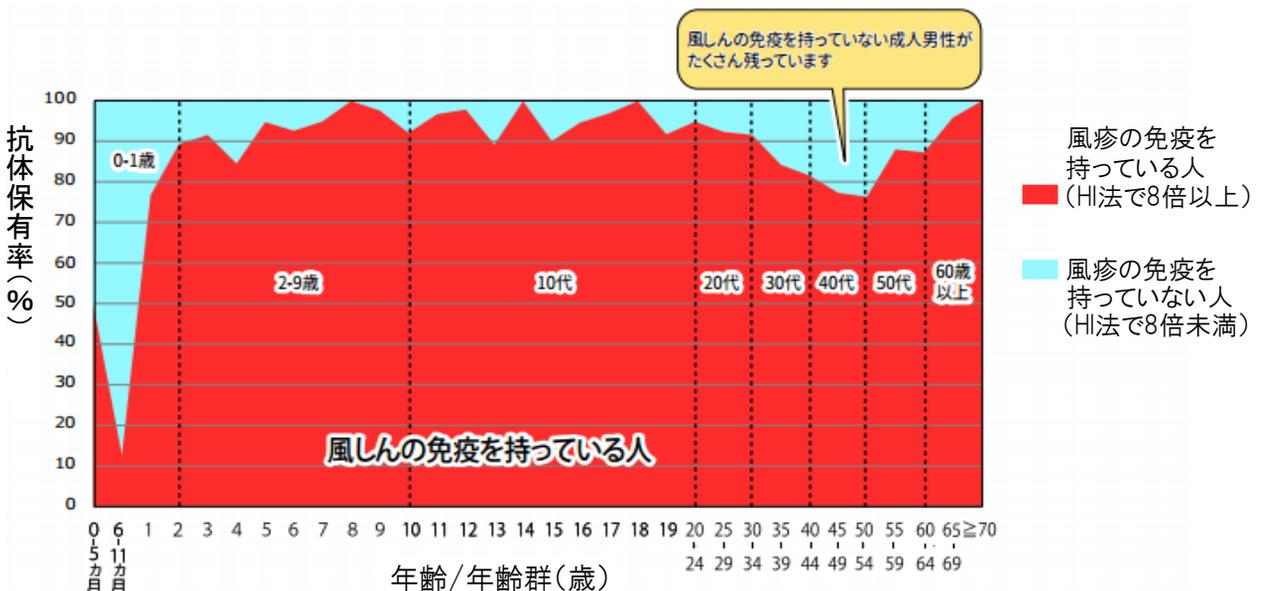
- ①定期接種の対象とされ、期間内の3年間、全国で原則無料で定期接種が実施されます。
- ②ワクチンの効率的な活用のため、無料で抗体検査を受けていただくこととなります(平成26年4月1日以降の抗体検査の記録をお持ちの方を除く)。
- ③職場の定期健診や人間ドックの機会に抗体検査を受けられるようになっている場合があります。夜間・休日の抗体検査・予防接種を実施している医療機関も探せばありそうです。

なお、堺市在住の男性で、抗体検査の結果、風しん第5期定期接種の対象に当てはまらなくても、結果と条件によっては堺市の先天性風しん症候群対策事業で自己負担1,000円の任意接種ができます。

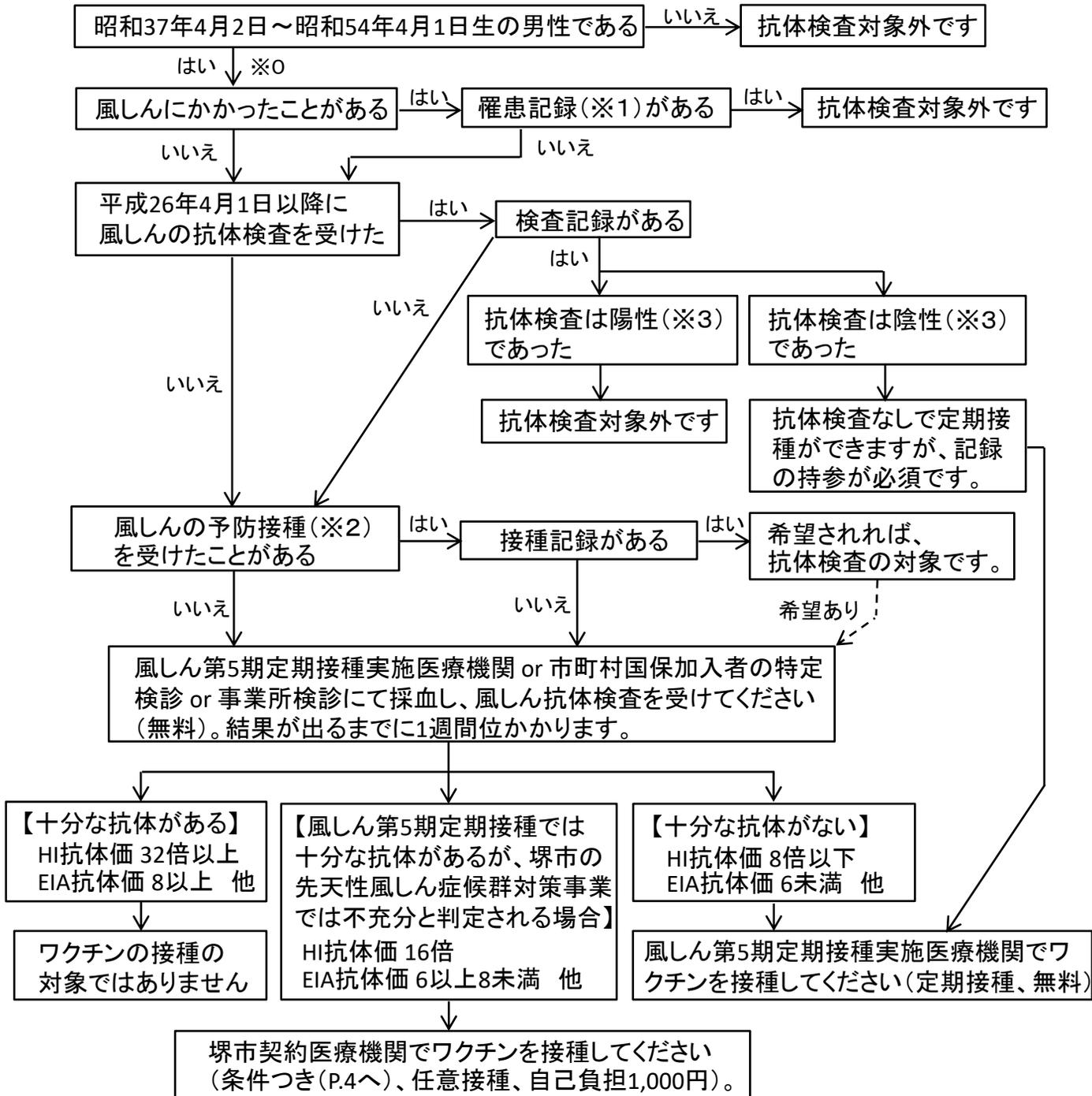
令和元年からクーポン券が順次配布されましたが、**令和4年2月末までに使用する必要があります**。なお、令和元年や2年のクーポン券も令和4年2月末まで使用できます。ちなみに堺市在住の方はクーポン券は必須ではありません。身分証明等の書類があれば進めることができます。

生年月日など	ワクチン接種の状況
昭和37年4月1日以前生まれの男女	定期接種は行われていませんでしたが、大半の人が自然に風疹に感染することで免疫があります。
昭和37年4月2日～ 昭和54年4月1日以前生まれの男性	中学生の時に女性のみを対象として、学校で集団接種が行われていたため、自然に風疹に感染する機会が減少しましたが、男性は定期接種制度が行われていなかったため、風疹の免疫がない人が多い世代です。
昭和54年4月2日～ 昭和62年10月1日生まれの男女	男女とも中学生の時に予防接種を受ける対象になっていましたが、中学生のときに個別に医療機関で予防接種を受ける制度であったため、接種率が低く、風疹の免疫がない人が多い世代です。
昭和62年10月2日～ 平成2年4月1日生まれの男女	男女とも幼児のときに予防接種を受ける対象となり、接種率は比較的高いのですが、自然に風疹に感染する機会がさらに減少したため、接種を受けていない人には風疹の免疫がない人が比較的多い世代です。

男性の年齢別風疹抗体保有状況



1. 住民票が堺市にある方が堺市内で受診される場合 (クーポン券はあってもなくても可)



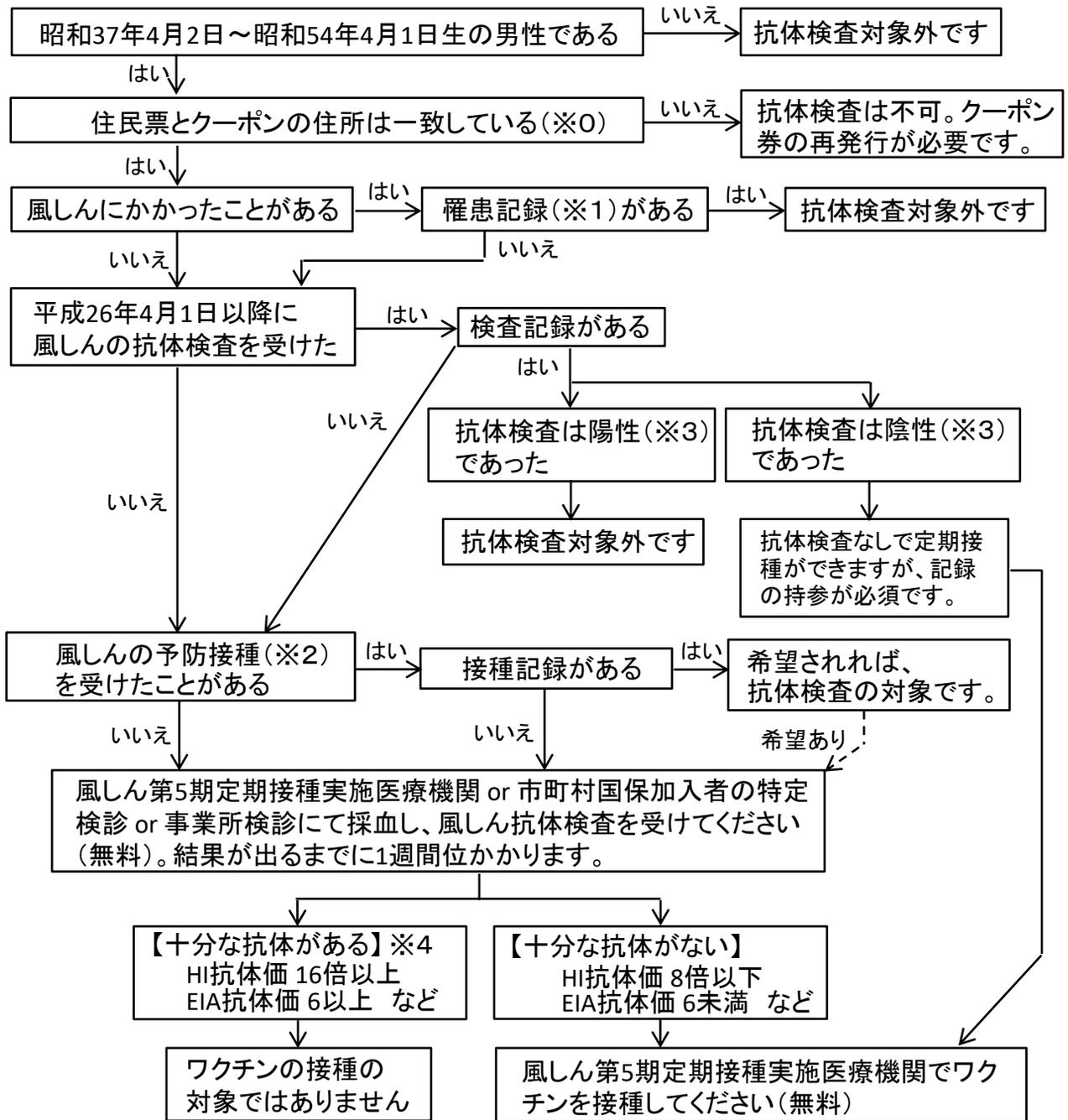
※0. 堺市在住なら風しん第5期実施医療機関を受診する場合にクーポン券はなくても結構です。ただし、受診などの際には現住所と生年月日を証明できるものとして免許証、マイナンバーカードなどの本人確認書類をご用意ください。

※1. ウイルス遺伝子検査(PCR法)による風しんウイルス遺伝子の検出、ウイルス分離・同定による風しんウイルスの検出、風しん抗体の検出(IgM抗体の検出、ペア血清での抗体陽転又は抗体価の有意な上昇)。

※2. 風しんの予防接種とは、風しんワクチン、麻しん・風しん混合ワクチン(MR)、麻しん・風しん・おたふくかぜワクチン(MMR)のいずれかのワクチンをいいます。

※3. 抗体検査結果が陰性であるとは、「定期接種の対象となる予定の風しん抗体価」を満たすものをいう＝検査方法ごとの基準以下のもの＝P.4の表1を参照してください。

2. 住民票が堺市以外の方が堺市で受診されるか、堺市の方が堺市外で受診される場合(クーポン券が必要)



※0. 受診などの際は、クーポン券および免許証やマイナンバーカードなど本人確認書類をご用意ください。

※1. ウイルス遺伝子検査(PCR法)による風しんウイルス遺伝子の検出、ウイルス分離・同定による風しんウイルスの検出、風しん抗体の検出(IgM抗体の検出、ペア血清での抗体陽転又は抗体価の有意な上昇)。

※2. 風しんの予防接種とは、風しんワクチン、麻しん・風しん混合ワクチン(MR)、麻しん・風しん・おたふくかぜワクチン(MMR)のいずれかのワクチンをいいます。

※3. 抗体検査結果が陰性であるとは、「定期接種の対象となる予定の風しん抗体価」を満たすものをいう＝検査方法ごとの基準以下のもの＝P.4の表1を参照してください。

※4. 堺市の方が他市で検査をしてHI法で16倍相当のときは、P.4の堺市の先天性風しん症候群対策事業として、堺市の契約医療機関で条件つきで自己負担1,000円の任意接種ができます。

表1 風しん抗体の種類と基準

測定キット名(製造販売元)	検査方法	抗体価(単位等)
風疹ウイルスHI試薬「生検」 (デンカ生検株式会社)	赤血球凝集抑制法 (HI法)	8倍以下(希釈倍率)
R-HI試薬「生検」 (デンカ生検株式会社)	赤血球凝集抑制法 (HI法)	8倍以下(希釈倍率)
ウイルス抗体EIA「生検」ルベラIgG (デンカ生検株式会社)	酵素免疫法 (EIA法)	6.0未満(EIA価)
エンザイグノストB 風疹/IgG (シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社)	酵素免疫法 (EIA法)	15未満 (国際単位(IU)/mL)
バイダス アッセイキット RUB IgG (シスメックス・ビオメリュー株式会社)	蛍光酵素免疫法 (ELFA法)	25未満 (国際単位(IU)/mL)
ランピア ラテックス RUBELLA (極東製薬工業株式会社)	ラテックス免疫比濁法 (LTI法)	15未満 (国際単位(IU)/mL)
アクセス ルベラ IgG (ベックマン・コールター株式会社)	化学発光酵素免疫法 (CLEIA法)	20未満 (国際単位(IU)/mL)
i-アッセイ CL 風疹 IgG (株式会社保健科学西日本)	化学発光酵素免疫法 (CLEIA法)	11未満 (抗体価)
BioPlex MMRV IgG (バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社)	蛍光免疫測定法 (FIA法)	1.5未満 (抗体価 AI、独自のもの)
BioPlex ToRC IgG (バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社)	蛍光免疫測定法 (FIA法)	15未満 (国際単位(IU)/mL)

(今後キットの追加の可能性あり)

堺在住で、風しん抗体が特定の結果(HI法で16倍、EIA法で6.0以上8.0未満(EIA価)など)の男性、又は基準値未満の女性なら、助成制度があります

堺市の『先天性風しん症候群対策事業』

堺市内の契約医療機関でのワクチンの自己負担額:1,000円

助成回数:1人1回限り

対象者:ワクチン接種日時時点で堺市に住民登録があり、接種日以前5年以内の風疹抗体検査結果が基準値に満たない方で、次の1から3のいずれかに該当する方。

1. 妊娠を希望する女性
2. 妊娠を希望する女性の配偶者(婚姻関係は問われません)
3. 妊娠している女性の配偶者(婚姻関係は問われません)

② 助成には、予め風疹の抗体検査を受け、抗体が基準値未満である必要があります。女性を対象に各保健センターで月1回風疹の抗体検査を実施しています(堺市に住民登録がある20歳以上のA 妊娠を希望する女性、B 妊娠を希望する女性の同居者、C 妊娠している女性の同居者、無料、1人1回限り)。また、堺市外などでの接種には還付請求制度があります。

堺市の先天性風しん症候群対策事業での基準値
(風しん第5期定期接種の接種基準とは異なります)

風しんウイルスHI抗体価で32倍未満
風しんウイルスEIA抗体価で8未満

女性の場合、風しんワクチン接種1か月前から接種2か月後まで避妊が必要です。